

グリーフ・ケアとは、身近な人との死別を経験し、悲嘆にくれる人を傍で見守り、支援することで、悲しみから立ち直れるようにすることをいう。

グリーフ (grief) とは、深い悲しみを意味する。

相手に寄り添う姿勢が、一方的に励ますことよりも大切であるといわれている。

「グリーフ・ワーク」という長期にわたって特別な精神状態の変化を経て、大きな悲しみを乗り越えて行く過程を支援し、最終的には遺族が立ち直れるまで、傍に居ることを目的とする。

※ 大切な人と死別したとき、遺族は大きな悲しみ（グリーフ）を感じ、長期にわたって様々な精神的な変化をたどる。具体的には、ショック期、喪失期、閉じこもり期、再生期といったプロセスをたどる。（看護用語辞典：ナース pedia から）